

各位

令和 2 年 6 月 15 日  
株式会社理研ジェネシス

## 理研ジェネシスと Adaptive Biotechnologies、 微小残存病変解析について代理店契約を締結

株式会社理研ジェネシス（本社：東京都品川区、代表取締役社長：近藤 直人、以下「理研ジェネシス」）と Adaptive Biotechnologies Corporation（本社：米国ワシントン州シアトル、CEO：Chad Robins、以下「Adaptive」）は、国内臨床研究用の微小残存病変（minimal residual disease: MRD）解析について、代理店契約を締結しました。

本代理店契約に基づき、理研ジェネシスは、Adaptive が開発した、次世代シーケンス（Next generation sequence: NGS）による MRD 検出およびモニタリングのための clonoSEQ®アッセイサービスを国内臨床研究用に提供します。clonoSEQ®は、B 細胞の悪性腫瘍（急性リンパ芽球性白血病、多発性骨髄腫、B 細胞リンパ腫など）において、再構成された B 細胞受容体遺伝子配列をマルチプレックスに解析し、腫瘍細胞に見られる特定の DNA 配列を同定および定量化することにより、MRD を検出します。

微小残存病変（MRD）と呼ばれる、リンパ系腫瘍の治療過程および治療後に、患者体内にわずかに残存する癌細胞を調べることは、治療効果や再発の判定等の指標として重視されています。従来は、細胞形態学的方法でその評価が行われてきましたが、近年の治療法の発展から、血液学的検査では検出しきれない微量の残存癌細胞を再現性高く検出できる高感度な測定が求められています。MRD の測定は、新しい治療法の臨床試験を計画する上で重要であり、clonoSEQ®は、これまでに 200 以上の臨床試験で使用されています。

当社は、NGS をはじめとした先端の遺伝子解析技術を通じて、精密医療の実現化を推進し、広く国民の QOL（Quality of Life）の向上に貢献することを理念として掲げています。これまでに、固形がんを対象としたがんゲノムプロファイリング検査を通じて、がんの診断や治療、薬剤選択に有用な情報を提供してきました。Adaptive が開発した MRD アッセイの導入により、今後、リンパ系腫瘍に関連する国内の医療・医薬品開発に対する支援を進めてまいります。

※clonoSEQ®アッセイサービスは、国内において研究用としてのみご利用いただけます。診断目的には使用できません。

## 株式会社理研ジェネシスについて

2007年10月に設立された理研ジェネシスは、ゲノム科学・分子診断技術による精密医療の実現をミッションとして、最先端の遺伝子解析技術に基づく遺伝子検査用の製品、およびラボアッセイサービスを提供しています。当社は、CAP認定/CLIA認証やISO 15189認定を取得したラボにて、国際的な品質基準に基づいた信頼性の高い試験を提供しており、クリニカルシーケンスや創薬研究支援、臨床研究支援において実績を挙げています。詳細は、理研ジェネシスのウェブサイト（URL：<https://www.rikengenesis.jp/>）にてご確認ください。

## Adaptive Biotechnologies について



Adaptive Biotechnologies は、獲得免疫システムのバイオロジーを利用して、疾患の診断と治療開発の支援を行うバイオテクノロジー企業です。獲得免疫システムとは、体内に現れた病原体や異常細胞を認識し、それらを特異的に排除する免疫機構です。一部の高等生物が持つこの精密な免疫機構が解読できれば、これまでの医学にない新しい診断や治療法を生み出せると考え、Adaptive は独自の免疫医学プラットフォームを開発しました。同社は、獲得免疫システムの大規模な遺伝学的解析を通じて、生命科学研究、臨床診断、創薬における製品開発を行っており、clonoSEQ®を含む2つの製品を展開しています。臨床パイプラインには、がん、自己免疫疾患、感染症などの疾患における診断、モニタリング、治療を可能にする強固なシーズを所有しています。Adaptive は個々の患者に合わせた免疫学を基盤とする臨床製品の開発を目指しています。詳細は、同社ウェブサイト（URL：<https://www.adaptivebiotech.com/>）にてご確認ください。

以上

### 【お問い合わせ先】

株式会社理研ジェネシス マーケティング部

Tel 03-5759-6042

〒141-0032 東京都品川区大崎 1-2-2 アートヴィレッジ大崎セントラルタワー8階